

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童通所支援センターラブアリス千歳桜木別館

公表日

令和7年3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		パーティションを使用し安心して過ごせる空間作りをしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		バリアフリーになっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年2回程アンケートを配布しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内部研修、外部研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			行動観察記録(療育記録)を担当者が日々記録しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			プログラム考案担当者が打ち合わせ時に全体に立案し話し合うことが出来ています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			プログラム考案担当者を曜日ごとに変えて取り組んでいます。

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別担当者とグループ担当者を決めて、きめ細やかな支援を心がけています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			1日2回、下記の通り実施しています。 午前→送迎等 午後→こどもの実態 支援内容
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			退勤時間が違うことで全体での振り返りは出来ていないが、次の日の打ち合わせ時に必ず、共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		担当者を決め、記入漏れがないよう配慮しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			年に2回面談時に説明しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在は保護者会等の実績はありませんが、今後、検討していきたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		招待等の実施はないが見学は積極的に受け入れている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			感染症のマニュアルを作成し配布しています。今後は内部で使用している緊急時対応マニュアルを周知して頂けるよう検討していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年に2回、地震、火災を想定した避難訓練を実施しています。引き続き、おたより等で報告していきたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			外部研修に参加し、その内容を職員間で共有しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			個別支援計画に記載するとともに口頭でも伝えていきます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援センターラブアリス千歳桜木別館		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 14日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 14日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化しないように工夫している。	・個々の発達や課題に合わせて、担当スタッフが個別で丁寧に支援している。 ・子どもたちのやってみたいこと、興味のある活動をすぐに提供できるよう、臨機応変に対応している。	・個別支援計画に基づき、より計画的に幅広い経験や深い学びの場を提供できるようにしていきたい。 ・子どもたちの興味のあることを日常的な会話の中で察知し支援に落とし込むことで子どもたちの興味のあることに対して迅速に対応できるようにしていく。
2	・日ごろから子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達や課題について共通理解を持っている。	・送迎時の申し送り、活動内容、活動写真などを連絡ノートに載せることなどで日々の活動の様子を保護者に伝えたり、子どもの発達の状況や課題について話をする機会、共有する機会を設けている。	・今はまだ実施できていないが今後、保護者会等を開催した際に日々の子どもたちの活動の様子、成長などを伝える機会を設けることで当事業所の支援についての共通認識を高め、より丁寧な支援を行えるようにしていきたい。
3	・日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげている。	・日々の支援の記録をもとに課題、対応策を職員間で共有し次の支援につなげている。	・職員一人一人の気付きを職員全体の気付きとし、日々の打ち合わせの中で情報共有していくことで次の支援へつなげていく。 ・必要に応じて保護者やこども園、他事業所と連携や情報共有を行い子どもたちについても共有理解を深めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている。	・保護者同士の交流する機会が設けられていない。 ・きょうだい向けのイベントを開催していない。	・定期的に保護者の方に活動内容や、子どもたちの成長を伝えられるような機会や、保護者を含めた研修会を開催することで保護者同士の交流の場を設けていきたい。
2	・事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されている。	・各マニュアルを保護者に周知、説明する機会を設けていない。 ・訓練の実施について見える化ができていない。	・定期的にマニュアルの見直しや改訂を継続していき、感染症対策、虐待防止等についての職員間で実施している子どもたちの安全を守る取り組みについても保護者と共有できるような形で発信していきたい。
3	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている。	・訓練の実施について見える化が出来ていない。	・訓練での子供たちの様子や課題、対応策などの気付きをおたよりやSNSを使ってその都度保護者に伝えていくことで情報の共有を行ってきたい。